

令和7年度

三宅支庁管内東京都事業説明会 (三宅村)





①商工・観光関連支援

施設整備補助・情報発信等（商工担当）

②山村・離島振興施設整備事業

施設整備等補助（農務担当）

③林道災害復旧事業／雄山環状林道

工事（林務担当）

④島しょ漁業振興施設整備事業

施設整備等補助（水産担当）

観光施設整備補助や島の特産品の紹介、SNSによる島の魅力PR等を通じた支援を実施

三宅村が行う観光施設等の事業に要する経費の一部を負担

三宅村観光施設整備事業補助金（ハード事業）

補助限度額2,000万円・補助率 1 / 2



ー補助実績ー

○アカコッコ館改修工事

- ・老朽化した床の張替えをし、利用者の利便性を向上(R5)
- ・別館の天井の張替をし、利用者の利便性を向上 (R6)

○大船戸海水浴場シャワー室整備事業

- ・温水の出るシャワーを整備し、利用者の利便性を向上(R4)

多摩・島しょ地域観光施設整備等補助金（ソフト事業）

補助限度額～500万円・補助率 1 / 2



ー補助実績例ー

○三宅島巨樹マップ作製委託（R3）

- ・巨樹を新たな観光資源とし、観光客の利便を向上

○イベントテント設営箇所整備（R3）

- ・旧三宅村レストハウスの鉄骨除去等により、イベントテントの安定した設営を可能

観光施設整備補助や島の特産品の紹介、SNSによる島の魅力PR等を通じた支援を実施

東京 島じまん食材使用店

★島しょ産の農林水産物を使用した料理を提供している飲食店を登録

(三宅村内 17店舗)



東京都地域特産品認証食品

★東京産の原材料や東京の伝統的な手法にて生産された食品を審査・認証

三宅島では以下の商品を認証

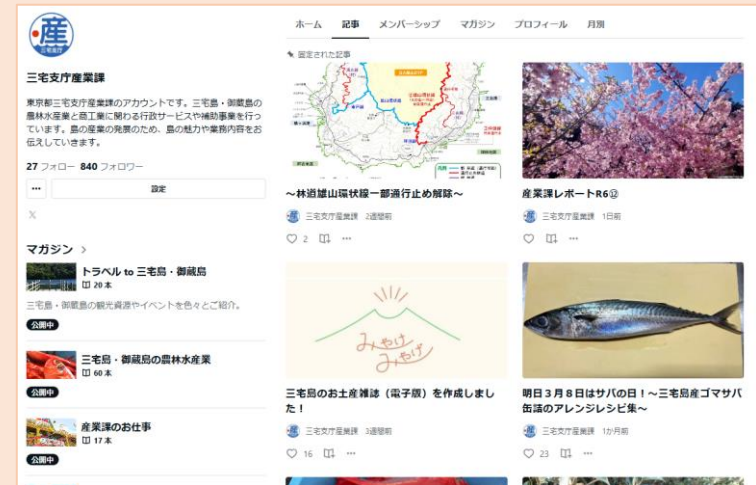
- ・「あした葉燻製」(ヤマノベ旅館)
- ・「あしたばそば」「あしたばパスタ」(西野農園)



三宅支庁産業課note



島の魅力や支庁の業務内容について紹介



令和6年度投稿数：27投稿

フォロワー数：840

- ・産業課レポートは毎月投稿
アシタバ・キンメダイ・カツオ出荷量、来島者の状況、その他トピックスを掲載
- ・島の魅力等を伝える記事を掲載

山村・離島振興施設整備事業

農務担当

【目的】

農業生産及び流通に必要な施設などの整備を通じて、地域の特性を活かし、地場産業の育成、就業機会の確保などを促進させ、地域活性化の中核的な担い手となる農業者の自発的な取組を誘導・支援する。

【補助対象】

- ・三宅村認定農業者・認定新規就農者で生産者で組織する団体に所属していること
- ・市町村、農協及び後継組織

【補助率】

消費税を除く事業費のうち、
都が75%補助＋三宅村が10%上乘補助
※消費税は自己負担

【三宅村での令和4年度以降の事業実績】

耐風強化型ハウス①・防風柵②等の整備

キキョウラン等の切葉類、パッションフルーツやマンゴー、レモンなどの果樹類の品質を確保すると共に生産振興に貢献した。



アシタバ加工場、乾燥機、冷蔵庫③等の整備

アシタバ加工施設を整備し、加工用アシタバの販路拡大及び原料として生産する農家の所得向上・新たな雇用の場の創出につなげた。



①は令和4年度、令和5年度、令和6年度に整備、②は令和4年度、令和6年度に整備、③は令和4年度に整備

山村・離島振興施設整備事業

農務担当

【令和7年度の整備予定】※令和6年度要望調査より

○安定栽培、生産性や品質の向上を目的として、農業生産施設等を導入予定

- ① 耐風強化型ハウス(三宅島パッションフルーツ生産部会)
- ② トラクター、動力噴霧器等(三宅島地産地消部会)
- ③ 防風柵(三宅島カンキツ研究会)



①耐風強化型ハウス



②トラクター



③防風柵

【事業スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 交付申請 →			★	← 資材購入・施工 →					★	完了検査	★
			交付決定								補助金支出

林道雄山環状線(金曽)災害復旧工事

雄山環状線（ハチマキ道路）の現状

観光や森林レクリエーションにも活用されるなど重要な路網の一つであるが、平成12年の噴火により多くの箇所が被害にあった。現在も**金曽橋跡**は、**被災した状態のまま**となっている。



工 事 概 要

崩落した金曽橋跡に擁壁、排水施設及び路面等を施工する。

- 工期：令和7年度後半から令和8年度中予定
- 工事区間：約50m

※令和8～12年度において雄山環状線 火の山ー坪田間において路面改良工事等を施工予定。

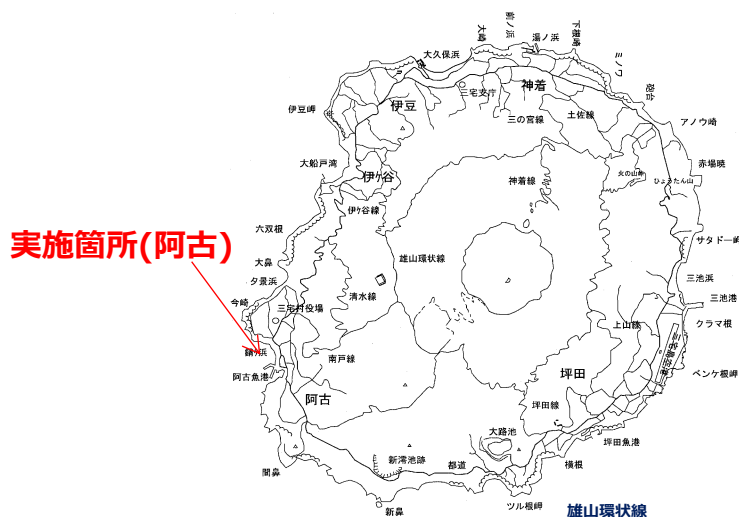
被災状況



三宅島漁協の水揚げ・出荷作業の円滑化に向けた関連施設の整備

三宅島漁協水揚げ・出荷作業の状況

三宅島漁協では、H 2 8 及び R 4 島しょ漁業振興施設整備事業で整備した 2 台の電動フォークリフトを使用して、八幡丸からの氷搬入、砕氷作製作業を行っている。また、近年では大型のマグロ類の水揚げ増加や小型定置網が再開されたことにより、電動フォークリフトを活用する機会が増えている。このような状況の中で、H 2 8 に整備した電動フォークリフトに不具合が発生し、作業の中断が頻発しており、水揚げ、出荷作業の効率が著しく低下し、漁獲物の鮮度保持に悪影響を及ぼす状況が続いている。



電動フォークリフトの更新

電動フォークリフト2台による安定した作業体制を確保することで、製氷搬入作業、砕氷作製作業及び鮮魚介藻類の水揚げ作業の安定・効率化を図るとともに、漁獲物の鮮度保持に取り組むものとする。



三宅支庁土木港湾課



①伊ヶ谷港線／伊ヶ谷

②無電柱化事業／島内

③阿古漁港整備／阿古

④とんび沢南支川／坪田

①伊ヶ谷港線（仮称）事業（令和7年度） 伊ヶ谷港線整備担当

<1.事業概要>

①目的

本事業は、迫る大規模災害に備えて、三宅島及び伊ヶ谷地区の防災力を強化するため、伊ヶ谷漁港にアクセスする現道の代替路となる防災道路として、トンネル構造を主体とした伊ヶ谷港線（仮称）を整備するものです。

②内容

トンネル：第1トンネルL=100m、第2トンネル747m

橋 梁：橋長L=25.4m 鋼単純合成鈹桁橋

幅員構成：車道2.75m×2、路肩0.75m×2、
歩道2.00m、路上施設帯0.5m、
管理用通路0.75m

縦断勾配：上り勾配 2.120%（第1トンネル）

下り勾配 6.413%（第2トンネル）



<2.令和7年度工事概要>

■工事件名

- ① 道路改修工事(6三-伊ヶ谷港) ※継続
- ② 道路改修工事(7三-伊ヶ谷港)

■工事内容

①橋梁下部工

掘削工 1,000m³

発生土処分 240m³

コンクリート工 295m³

基礎杭工 (φ1000) 10本

②橋梁上部工

鋼単純合成鈹桁橋

橋長 L = 25.4m、幅員 W = 9.25m

鋼けた製作工 一式

鋼けた架設工 一式



工事箇所現況（R7.3時点）と施工イメージ

②三宅島無電柱化事業（令和7年度）

電線共同溝整備担当
電線共同溝整備推進担当

<1.事業概要>

「東京都島しょ地域無電柱化整備計画」

①目的

今後激甚化することが予想される台風などの自然災害が発生しても停電・通信障害が発生しない島しょ地域の実現

②内容

緊急整備区間（2025年度までに完了） 2.5 km

優先整備区間（2030年度までに完了） 15.2 km

一般整備区間（2030年代完了目指す） 15.1 km

拡幅整備区間（2030年代完了目指す） 2.8 km

阿古漁港、三宅島空港（2030年度までに完了）

伊ヶ谷漁港、三池港（2030年代の完了を目指す）

③R7電共本体工事予定

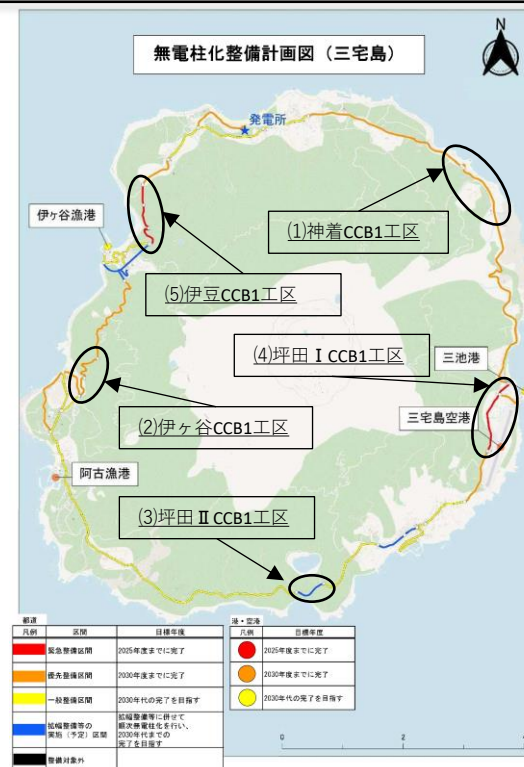
支庁発注工事：(1)神着CCB1工区（継続） 1.0 km

(2)伊ヶ谷CCB1工区 0.5 km

(3)坪田ⅡCCB1工区 0.5 km

NTT委託協定：(4)坪田ⅠCCB1工区 1.3 km

(5)伊豆CCB1工区 1.0 km



<2.スケジュール（全体）>

	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040年度以降	
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度	令和19年度	令和20年度	令和21年度	令和22年度以降	
調査・設計																				
支障移設																				
本体工事																				
引込連系工事																				
入溝・抜柱																				
復旧																				

目標完了年度

令和6年度阿古漁港-5.0M岸壁（改良）及びその他建設工事 港湾工事担当

<1.事業概要>

①目的

発災後の早期復旧・復興のため、RORO船に対応した緊急輸送用岸壁を整備する

②内容

施工延長25.1m 土工 542m³ 基礎工 349m³
鋼枠運搬 一式

③工期

令和7年3月13日から令和7年12月9日まで

④特記

「令和5年度阿古漁港-7.5M岸壁(改良) 及びその他建設工事【5-6債務・繰越】の継続工事

<2.スケジュール（全体）>

既設-7.5M岸壁								既設-5.0M岸壁		
ケーソン⑤	ケーソン④	ケーソン③	ケーソン②	ケーソン①	鋼枠①	鋼枠②	鋼枠③	鋼枠④	鋼枠⑤	鋼枠⑥
施 工 済								R7 施工予定		
R6d						鋼枠据付		鋼枠制作		
R7d								鋼枠据付		

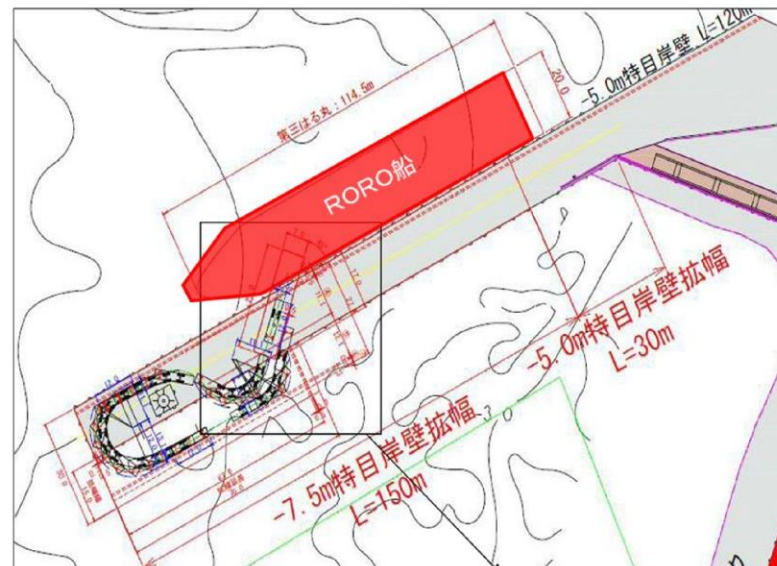
対象船舶・大型トレーラー旋回図

■岸壁幅拡幅: 15m→30m

(大型トレーラーが旋回可能な岸壁幅を確保)



想定RORO船（第3はる丸）



大型トレーラー旋回図

④とんび沢南支川砂防工事（令和7年度）

砂防担当

<1.事業概要>

①目的

とんび沢南支川の下流には、人家11戸及び都道212号三宅循環線が位置している。これら保全対象を土砂災害から保護することを目的として、砂防施設の整備を行う。

②内容

- 不透過型堰堤2基
- 砂防堰堤管理用道路350m



● 砂防堰堤のイメージ
(筑穴ヶ沢3号堰堤)

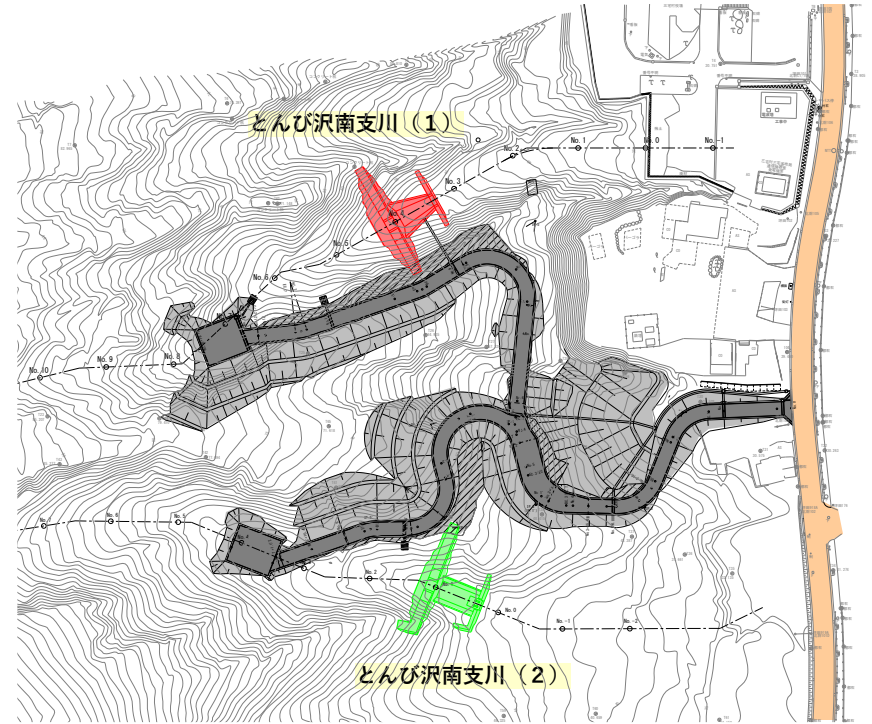


● 管理用通路（R7.2末時点）

<2.令和7年度工事概要>

令和7年度においては、以下を整備します。

- とんび沢南支川(1)の砂防堰堤本体を整備します。



<3.スケジュール（全体）>

	令和4年度	令和5年度	令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度			
			第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4
工事用道路																		
砂防堰堤 (とんび沢南支川(1))																		
砂防堰堤 (とんび沢南支川(2))																		

※スケジュールは、現時点のものであり、関係機関調整や予算の措置状況等によって変わる可能性があります。

地域保健医療推進プランの改定

島しょ保健医療圏
地域保健医療推進プラン
(令和6年度～令和11年度)



令和7年1月

島しょ地域保健医療協議会

島しょ保健医療圏 地域保健医療推進プラン の改定

- ・ 島民が健康で生き生きとした生活を実現することを目指し、保健所、町村、保健・医療・福祉の関係機関及び団体などによる「島しょ地域地域保健医療協議会」において、令和6年度に「島しょ保健医療圏地域保健医療推進プラン」を改定しました。

【計画期間：令和6年度～令和11年度】

- ・ 島民、関係者、行政が一体となって目標達成を目指します。

保健所は、事業計画に示した「健康の保持増進」「生活環境面の安全対策」等の各種事業を、的確に丁寧に行っていきます。

健康づくりと保健医療体制の推進	生涯を通じた健康づくりの推進	糖尿病・メタボリックシンドロームの予防 がんの予防 たばこ対策 こころの健康づくり 食を通じた健康づくり
	母子保健福祉対策	
	高齢者保健福祉対策	
	障害者保健福祉対策	
	難病対策	
	歯科保健医療対策	
島しょ医療の充実	医療体制	
	保健医療を担う人材育成	
	医療安全対策	
健康危機管理体制の充実	感染症対策	新興感染症対策 感染症・結核・エイズ対策
	医薬品等の安全確保	
	食品の安全確保	
	生活環境対策	
	動物愛護と管理	
	災害時の保健医療対策	



食環境整備



適正飼養の推進



調理師研修会



食品衛生監視



微生物検査



胸部X線検査



感染症訓練



精神保健講演会

島しょ農林水産総合センター



① テングサ藻場復活技術開発事業

**② 施設栽培におけるレモン類の品種特性
把握と生育評価**

**③ パッションフルーツ施設栽培における着色
不良果の発生抑制技術の開発**

①テングサ藻場復活技術開発事業

大島事業所

<事業概要>

①**背景** テングサ類は、過去に年間1000トンを超える漁獲量を誇り、伊豆諸島を代表する水産物である。2017年から長期化する黒潮大蛇行に伴い、伊豆諸島海域では高水温貧栄養の状態が続いている。このため、テングサ藻場の喪失が顕著であり、採介藻漁業の存続に係る大きな問題となっている。

②**目的** 藻場造成に必要な移植種苗の大量培養技術を開発するとともに、藻場造成の核となる現存藻場を種藻場として保全する技術開発を行う。

③内容

1 継続的な移植に必要なテングサ種苗生産技術の開発

2 種藻場の維持・造成に向けた移植技術の開発

事業種別	直営
事業開始年度	令和6年度

1 継続的な移植に必要なテングサ種苗生産技術の開発

- ・大量培養技術に必要な条件を把握
(海水温、栄養塩、光量子量、特定光波長の選択性など)
- ・大量生産方式の検討



培養実験（イメージ）



培養6ヶ月のテングサ



大量生産方式例（攪拌式）

2 種藻場の維持・造成に向けた移植技術の開発

- ・テングサが局所的に残存している場所の環境調査
(栄養塩、光量子等)
- ・増殖種苗を用い、種藻場や静穏域等への移植試験を実施
(種糸、海藻礁設置による移植)
- ・海洋環境に配慮した効率的な栄養塩供給手法の開発
- ・食害防止対策の検討



食害対策試験



海藻礁設置



移植実験

内容・方法	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
1 テングサ大量培養技術開発	←				→
2 種藻場の維持・造成に向けた移植技術の開発	←				→

②施設栽培におけるレモン類の品種特性把握と生育評価

三宅事業所

<事業概要>

①背景

- ・「三宅村特産農産物試験栽培事業」（単村）でカンキツ振興を開始（H30～）
- ・実証展示ほ場にレモン類やタンゴール類等7品種を植栽し、普及拠点を整備
- ・カンキツ研究会を組織して、生産体制を構築（R3.3）
- ・レモン類を中心に生産振興する方向性を明確化、レモンの定植開始（R4.3）
- ・島特有の潮風害の対策として施設栽培が有効だが、施設栽培レモンの知見が不足

②目的

三宅村における施設栽培レモンの適応性評価を行う。
（供試品種：アレン・ユーレカ、ビラフランカ、リスボン）

③内容・方法

- （・初期生育・初期収量の把握（R6までに検証済み））
- ・成園化後の果実収量・品質（果汁、外観）の把握
- ・樹勢・病害虫管理の把握

④期待される効果

- ・三宅村に適したレモン品種の普及
- ・効果的な潮風害対策としての施設栽培の普及



レモンによる生産振興
産業振興に貢献



施設栽培レモンの樹と果実（村展示ほ場）

内容・方法	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
1 初期生育・初期収量の把握	←→				
2 果実収量・品質の把握			←→		
3 樹勢・病害虫管理の把握	←→				

③ パッションフルーツ施設栽培着色不良果の発生抑制技術の開発

三宅事業所

<事業概要>

① 背景

- ・三宅島のパッションフルーツ「台農1号」の出荷最盛期は7月だが、温暖化の影響で、特に梅雨明け以降、施設内の急激な温度上昇で着色不良果が多発（R3の発生率：梅雨明け前23%⇒梅雨明け後54%）
- ・等級・可販果率の低下、収益性の低下、営農意欲の低下等を懸念

② 目的

遮光・遮熱資材等を活用した暑熱対策の検証に加え、ブドウやリンゴ等において効果が確認されているLED照射による果皮の着色促進技術を応用して着色不良果の可販果化に取り組む。

③ 内容

- 1. 着色不良果発生抑制 ⇒ 遮光・遮熱資材の利用等
- 2. 収穫後の着色促進 ⇒ LED照射条件の検討（波長、強さ、時間）
LED照射装置の検討

④ 期待される効果

- ・等級の向上・生果可販率の向上
- ・収益性の向上
- ・営農意欲の向上



持続的な
産地形成に貢献



着色良好



着色不良

パッションフルーツ着色歩合



遮光・遮熱資材のハウスへの被覆



青色LEDによる照射試験

内容・方法	5年度	6年度	7年度
1 着色不良果発生抑制の検討（被覆資材等）	←		→
2 着色促進装置の検討（LED照射）	←		→

教育庁三宅出張所

東京2025デフリンピックにおける
子供の競技観戦・体験活動事業



東京2025デフリンピックにおける子供の競技観戦・体験活動事業

教育庁三宅出張所

- 令和7年11月15～26日(12日間)に、ろう者のための国際総合スポーツ競技大会であるデフリンピックが日本で初めて開催
- 次代を担う子供たちが、大会を通して、スポーツのすばらしさや、障害のあるなしなどに関わらず互いに尊重しあうことの大切さ、多様性などを学ぶ機会として、デフリンピックの競技観戦・体験活動事業を実施（都が旅費負担）



【三宅村立三宅中学校(全学年)】

11月21日(金)

- | | |
|------|------------------------|
| 第1希望 | バスケットボール（大田区総合体育館） |
| 第2希望 | 水泳（東京アクアティクスセンター） |
| 第3希望 | バドミントン（武蔵野の森総合スポーツプラザ） |

申請エントリー中、結果は後日発表